

経費回収率の維持に向けたロードマップ

1 これまでの狩野川流域下水道事業経営健全化の取組

狩野川流域下水道事業では、関連市町の計画水量と汚水処理費の見込みを基に、維持管理負担金単価を設定するとともに、包括委託方式による維持管理費の縮減、効果的なストックマネジメントによる改築・更新費の抑制等による経営健全化に向けた取組を進めてまいりました。

なお、支出削減に向けた取組及び計画水量と実流入水量との乖離が生じた事により、累積資金の余剰が発生しています。

2 ロードマップ

そこで、累積資金の還元を考慮しつつ、経費回収率の維持に向けたロードマップを作成しました。具体的には、5年毎に事業環境の変化を踏まえ維持管理負担金単価の見直しと併せて、経営戦略の見直しを実施します。

これにより、持続的な経費回収率の維持を目指します。

表1-1 狩野川流域下水道事業経費回収率の維持に向けたロードマップ

	期間 (R2-R11)									
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
経営戦略計画期間	→									
経営戦略見直し					→					→
維持管理負担金計画期間	→									
維持管理負担金見直し					→	余剰資金の還元を考慮した維持管理負担金単価を設定				→

3 経営戦略計画期間 経費回収率（令和6年度-令和11年度）

ロードマップに従い、経営管理目標及び実績を以下に示します。

表2-1 維持管理負担金及び経費回収率の推移

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
経費回収率 (A+B/C)	113.5%	100.1%	111.7%	122.7%	113.0%	100.7%	101.6%	101.0%	100.0%	100.6%
維持管理負担金収入 (A)	3,002,680	2,946,118	2,940,203	2,947,898	2,889,438	2,815,891	2,852,036	2,873,230	2,904,176	2,927,861
維持管理負担金 還元額 (B)	0	0	0	0	0	128,029	128,029	128,029	128,029	128,029
維持管理費及び資本費 (C)	2,645,962	2,943,437	2,631,086	2,402,011	2,557,614	2,924,120	2,934,477	2,971,684	3,031,664	3,036,755

(実績値)

(見込み)

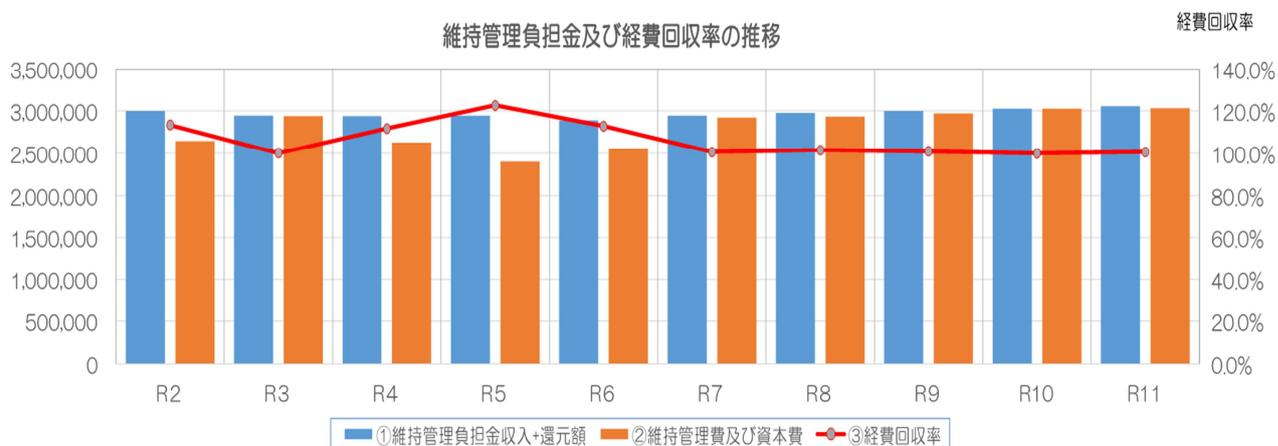


図1 維持管理負担金及び経費回収率の推移

表3-2 維持管理負担金単価の推移

狩野川東部						(円)				
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
実際の単価	89	89	89	89	89	88	88	88	88	88
還元前の単価						91	91	91	94	94
狩野川西部						(円)				
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
実際の単価	89	90	90	90	84	85	86	87	88	89
還元前の単価						88	88	90	91	91

4 経費回収率維持に向けた具体的な取組

ア 収入の増加

- ① 維持管理負担金は、5年に1度、事業環境の変化を踏まえ見直します。
 - ・次回見直し時期：令和11年度に実施します。
 - ※表1-1 狩野川流域下水道事業経費回収率の維持に向けたロードマップより
 - ・想定される効果：負担金の見直しの実施は、健全な経費回収率の維持と、流域下水道事業の安定した経営に繋がります。併せて累積資金の還元等による市町の負担軽減を図ります。
- ② 下水道の普及・啓発活動を実施します。
 - ・実施時期：令和7年度以降、定期的実施します。
 - ・想定される効果：下水道の役割や大切さを周知することで、下水道への接続が促進され、実流入水量が増加します。

イ 支出の削減

- ① 包括的民間委託により維持管理費の削減を図ります。
 - 契約期間：令和7年度から令和9年度
 - ※令和10年度以降は官民連携の強化を踏まえ再検討します。
 - 想定される効果：事業を取り巻く環境の変化に応じた効果的な業務範囲を設定することで、維持管理費の削減が図れます。
- ② スtockマネジメント計画に基づく適正な投資により、改築・更新費（資本費）の最小化を図ります。
 - 次回見直し時期：令和10年度に実施します。
 - 想定される効果：事業環境に応じた更新優先度を設定することで、施設の長寿命化が可能となり、改築・更新費の削減が図れます。
- ③ 下水汚泥のエネルギー化や肥料化等により、下水道資源の有効利用を検討します。
 - 検討時期：令和7年度以降
 - 想定される効果：下水道資源を有効活用することで、循環型社会への貢献とともに、下水汚泥処分費の削減が図れます。